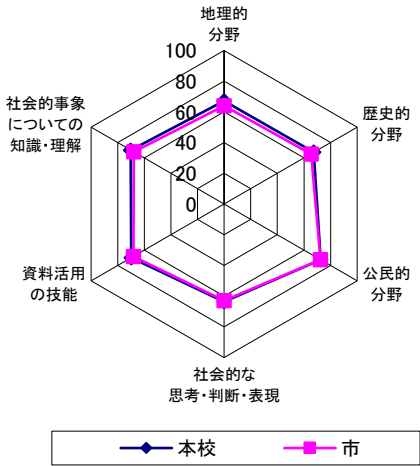


宇都宮市立豊郷中学校 第3学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	地理的分野	67.2	64.0	50.9
	歴史的分野	67.4	65.3	57.1
	公民的分野	72.6	72.4	67.0
観点別	社会的な思考・判断・表現	63.6	62.9	52.3
	資料活用技能	69.8	68.2	58.1
	社会的事象についての知識・理解	70.3	68.0	59.9

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。
(社会では本市独自の設問が含まれるため、参考値は全設問に対応した値ではない。)



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
地理的分野	地理的分野の平均正答率が67.2%で、市平均を3.2ポイント上回った。 ○世界各地の人々の生活と環境及び日本の姿に関する問題の正答率は、それぞれ市平均を3ポイント程度上回った。 ●世界の諸地域における複数の資料から考え、判断する問題の正答率は、市平均を2.4ポイント下回った。	・一つの資料を読み取り、思考を深める作業は授業で取り入れられることも多いが、複数の資料となると正しく読み取ることが難しくなるので今後は重点的に取り組んでいく必要がある。
歴史的分野	歴史的分野の平均正答率が67.4%で、市平均を2.1ポイント上回った。 ○古代及び近世の日本に関する問題の正答率は大多数が市平均を大きく上回った。 ●中世の日本に関する問題は、正答率が市平均を下回るものが多い。	・中世の中でも特に鎌倉時代と室町時代の復習を徹底させるとともに、その時代の文書・資料・写真などを用いて、時代の特徴を深く考えさせる授業を設定していきたい。
公民的分野	公民的分野の平均正答率が72.6%で、市平均を0.2ポイント上回った。 ○現代の民主主義と社会に関する問題の正答率はそれぞれ市平均を上回った。 ●人間の尊重と日本国憲法における憲法改正の手続きや公共の福祉に関する問題の正答率は、市平均を約3ポイント下回った。	・日本国憲法に関する学習内容を定着させるため、小テスト活用の機会を増やし、基礎学力の充実を図りたい。